

IoT Lab Selection（第1回先進的IoTプロジェクト選考会議（2月7日））において、準グランプリである株式会社ルートレック・ネットワークス、Finalistであるアルカディア・システムズ株式会社に対して、IPAによる支援が決定しました。

今後、IPAとの契約手続き等を経て、プロジェクトを実施していくことになります。

<http://www.ipa.go.jp/about/kobo/kobo20151218.html>

<プロジェクト概要>

★準グランプリ★ 株式会社ルートレック・ネットワークス

世界的に普及が拡大する点滴栽培（※）について、水や液肥の与え方を最適に制御するシステムを明治大学との産学連携により開発。ハウス栽培で12品目に導入し、収穫量が平均25～30%増加。1年での投資回収を実現。かん水や施肥の作業時間を90%削減。本プロジェクトでは、より市場規模の大きい露地栽培への拡大を目指す。また、点滴栽培のハードウェアの世界最大手ネタフィムと連携し、グローバル展開を目指す。

本プロジェクトは、日本の200倍の市場規模を持つ世界市場の獲得に向けた第一歩として露地栽培向けのアルゴリズムを開発する。

※植物の根の周辺だけに水と液肥を滴下することで、水等の消費を最小限に抑える栽培方法。日本国内での普及は僅かであるが、砂漠化による水不足が深刻な地域を中心に世界的に普及が拡大している



★Finalist★ アルカディア・システムズ株式会社

心疾患患者、疾患予備軍の方や高齢者が、継続的にリハビリ・運動を行えるよう、ウェアラブル端末により取得した運動中の個人の生体データ（心拍、体表温、運動量等）の分析を行ったり、ゲーム感覚で行える個人に最適な運動プログラムを提供するシステムを開発。

専門医の監修の下、多くの事例をビッグデータとして収集・解析することで、より効果的なサービスを実現。全国の医療機関、大手企業、高齢者施設、自治体等への展開を目指す。

